



《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635
新潟県立新潟高等学校内
TEL 025-266-5268
FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

長谷川 義明

《印刷所》

株式会社第一印刷所
〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18
TEL 025-285-7161
FAX 025-282-1776

新年のご挨拶

青山同窓会会長
長谷川 義明 (61回)



新年おめでとう御座います。青山同窓会会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は夏の暑さが格別で、まさに酷暑の夏を過ごしました。その夏の疲れが出てくる頃になると、今度は格別の寒さが襲い、実に不順な気候の年となりました。山の木の実も影響を受けたので、熊や猪が多く里に出て不幸な結果を招きました。無事にこの厳しい気候を乗り越

えることができたことを喜ばなくてはと思っています。その代わりでしょうか、街路樹などの紅葉はとも美しく、華やかに見えました。

年が改まって、今年こそ経済的にも、政治的にも、世界情勢も安定と希望の持てる年になって欲しいと願わずにはられません。

実際、昨年は円高が続き日本企業でも生産拠点を国内から海外に移動させるという報道がなされ、高い失業率が改善されず、大学卒業生の就職難など、一部企業を除いては景気回復に期待が持てない状態が続いています。

政治的にも、民主党政権に交替したものの、希望の持てる展開が見られないことに政界全体に対して無力感さえ漂っています。

さらに尖閣諸島を巡る中国

北方領土返還を巡るロシアとの交渉などは日本の主体性の欠如とさえ思えるほどで、わが国の立場についての確固たる主張の不足を感じさせます。

一方、青山同窓生の活躍には嬉しい状況も見られました。NHKのニュースウオッチ9のキャスターとなられた88回卒大越健介氏の活躍、またパイプオルガンの権威あるフランスのシャトル大聖堂国際オルガンコンクールで見事グランプリを獲得された111回卒の石丸由佳さん、全国高校総合文化祭書道部門で第一位にあたる文部科学大臣奨励賞を受けた現役3年生の久須美裕子さんなどの明るいニュースがありました。

各地、各界で活躍する同窓生の活躍は実に喜ばしいと同時にこちらも誇らしく思え励まされます。

11月に行われた第7回の青山学術文化講演会は大越健介氏と91回卒の内科医佐藤万成氏を迎えて開催されましたが、母校の視聴覚教室が満席になる盛況で

した。

お二人の熱の入った講演、内容も素晴らしく、時に笑いも誘う大変印象的な講演会でした。大越氏の長いNHK政治部やワシントン支局長の経験に基づき、「喪失の20年」という日本の政界の状況分析の解説も説得力がありましたし、佐藤氏の両手を頭の上上げて深呼吸をする背伸び呼吸法の実演など健康維持に効果ある生活習慣を身に付け、動脈硬化や糖尿病予防などに効果があるとの指摘も大変参考になる内容でした。

青山同窓生の世界への羽ばたきを感じると共に各界におけるご活躍に喜びを感じております。同窓の皆さんのますますのご健勝とご活躍の年でありますよう心から祈念申し上げます。

同窓生への調査カード(ハガキ) についてのご注意

昨年秋以降、大阪市の出版社より調査カードが同窓生の方々に行っております。この会社は当同窓会とは全く関係がありません。詳しくは6ページをご覧ください。

青山同窓会新年会のお知らせ

青山同窓会会長 長谷川義明

明けましておめでとうございます。恒例の青山同窓会の新年会を開催いたします。普段会えない方々と大いに歓談して頂きたいと存じます。開催要領は下記のとおりです。各期幹事の皆様からも同期の方々に連絡をしていただきたいと思います。また参加を希望される方はお誘い合わせて事務局までご一報ください。

青山同窓会事務局：TEL/FAX 025-266-5268
青山同窓会電子メール アドレス niigata_aoyama@yahoo.co.jp

記

日時：平成 23 年 2 月 17 日 (木)
受付 午後 6 時
《新年会は生徒の吹奏楽の演奏はありません》
開宴 午後 6 時 30 分
会場：ANA クラウンプラザホテル新潟 (旧ホテル新潟)
TEL 025-245-3334
会費：6,000 円



新年の挨拶

参議院議員

佐藤 信秋 (74回)



争が起きている、と解釈する見方もあります。

青山同窓会の皆様、明けましておめでとうございます。昨年も政治も経済も暮らしも大乱の一年でした。08年、サブプライムローンに端を発した、米国の金融危機は、リーマンブラザーズの破綻を契機に全世界に拡がりました。今、日本経済は物価が持続的に下落する緩やかなデフレ状況が続いており、物価下落、賃金下落で企業収益の悪化や失業増大につながっております。中国をはじめ、各国は大規模な財政出動、内需喚起を行い、世界経済全体は拡大基調を続けています。日本の輸出系産業はその余波を受けて、若干の好調を維持していると言っても良いのではないのでしょうか。普天間問題だけでなく、これも一因となって、円高、株安、日米のキシミ、日中、日口等の紛

争が起きている、と解釈する見方もあります。今年こそは良い年に、と誰もが強く思うところであります。特に我らがふる里、新潟の場合、平成16年の水害、中越地震、18年の中越沖地震と災害が続き、貴重な人命、財産が奪われました。2014年問題として北陸新幹線開業により、新潟の拠点性減少も懸念されています。だからこそ、災害から力強く復興し、住んで良し、訪れて良し、の新潟を一層目指す必要があります。

す。その一大拠点として、応援歌「ますらお」のように元気良く、新潟アズナンバーワンを指し、アルビレックスのように魅力を掘り出し、つくり出し、

青山同窓会の皆様への新年の挨拶

衆議院議員

鷲尾 英一郎 (103回)



あけましておめでとうございます。

青山同窓会の皆様には平素より格別のご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

本年も旧年中同様のご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。

さて、昨年から引き続き長引く経済の停滞が日本を蝕んでおります。長期のデフレ、財政難、円高などにより景気の本格回復が妨げられ、閉塞感が社会を覆い、将来への不安が一層消費を抑制させ、さらに景気の低迷につながるといふ悪循環に陥っております。

昔の二・二六事件あるいは支那事変を彷彿とさせる海保ビデオのインターネット流出、警視庁テロ捜査資料流出など、日本の統治機構が溶解し始めていると言わんばかりの事件が頻発しております。

これらの物事は、すべて政権交代後に起こったこととはいえ、その一因は、政府各層において長期にわたり事なかれ主義が蔓延し、国家戦略なくその時々国際情勢に漂流を続けてきた国家の当然の結果だとも考えられます。

もちろん、民主党政府の政権担当能力不足を言い訳するつもりはありません。

様々な期待を背に受けながらこの国の閉塞感を打破できずにいるのは、政権与党の責任です。その認識の上に立つて、今、政治は何を為すべきか。

その第一として、まずは民主党マニフェストの見直しではないかと思えます。

反省すべきは反省しながら、国民の望む政策を国家のあるべき姿とともに示すマニフェストを、国民とともに編むということが必要ではないかとおもいます。

というのは、目玉政策を含め、前回の総選挙の際に民主党マニフェストを知っている人はほとんどいないからです。この一年

「政権をとつてみたら、自分たちの思いとは異なるマニフェストなるものを順守しよう」としている民主党けしからん！」という声を多数お聞きしました。はたして、どこまで民主党マニフェストが望まれているのか。何が望まれ、何が疎まれ、どこを残し、どこを削るべきなのか？ 財政再建という観点からも、政権交代後著しく減少した税金に見合ったマニフェストを再度作成すべきと考えます。それから、第2に、政権政党として一致団結すること。党内がバラバラでは野党との折衝も何もあつたものではありません。特に参議院はねじれています。国民経済の停滞を許すべきではないし、その為には迅速な予算成立が最低限必要です。野党との議論促進のためにはあらゆる手を尽くすべきでしょう。今の日本のおかれている状況は、悠長に党利党略を主張し、好き嫌いで政治を行えるほど甘くないのです。政治が決断を行う。責任をとる。この基本的な権能を発揮せずして、日本の未来は輝きません。今年も厳しい1年になることが予想されておりますが、少しでも国家・社会をまっとうな方向にあらためるべく精進してまいることがお誓い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新春挨拶

新潟市長

篠田 昭 (75回)



青山同窓会の皆さま、新年明けましておめでとうございます。皆さまのご協力をいただき、3期目の新潟市政を担当させていただきましたことになりました。誠にありがとうございます。ご支援を賜った皆さまに深く感謝申し上げます。

これからの4年間、市民の皆さまにお約束した「安心政令市 マニフェスト」の具体化に全力を挙げてまいります。「安心」を最大テーマにしたことには理由があります。一つはこの十数年、日本から失われ続けてきた安心感を「新潟から取り戻したい」との思いからであります。もう一つ、超高齢社会への対応があります。これまで高齢化は中山間地や小都市が問題を先取りしてきまし

たが、今後は団塊の世代が多く暮らす新潟のような地方中核都市が高齢化の階段を一気に駆け上がります。新潟市では今後の5年間で65歳以上の方が3万人増加します。本格的な超高齢社会に対応し、「日本一安心な政令市を市民みんなで創つていこう」との強い気持ちでマニフェストに込めさせてもらいました。

失われてきた安心感を新潟で取り戻すには、介護・医療・子育て・教育など「ライフインフラ」の充実を図ることが大切です。例えば、いま市内で数千人が入居を待っている特別養護老人ホームを4年間で1,000人程度整備を前倒しすること、お年寄りやお年寄りのいらっしゃる家族に安心のメッセージを伝えるとともに、そのことで若者や女性、元気なお年寄りの働く機会を増やします。「安心と雇用が共に伸びるまち」を大きな目標として、旧来型福祉を超高齢社会対応に組み替え、在宅介護では地域力と市民力をフルに発揮いただく態勢を整えます。

同時に「明日の拠点化」のため、日本海拠点港湾の選定を確かなものにし、新潟市を首都圏と東アジアをつなぐ結節拠点としてまいります。既存企業の高度化のため開設したビジネス支援センターを本格活用し、企業立地も促進します。

諸施策推進の土台を確固たるものにするため、行財政改革と市職員の意識改革をさらに進め、地域に精通し現場に強い職員を増やしてまいりますので、どうかこれからも新潟市へのご支援をお願い申し上げます。ありがとうございます。

同窓会総会報告

平成22年度青山同窓会総会

現職員 阿部 素子 (94回)



大滝祐幸校長が、それぞれ新潟高校創立百二十周年に向けた意気込みを話され、栗林貞一東京青山同窓会名誉会長(59回)が東京での同窓会の盛会ぶりをお話しくださいました。その後、富山修一幹事長(75回)の司会に従い、会務報告・決算・計画、予算が滞りなく承認されました。続く懇親会では、長谷川同窓会長、佐藤信秋参議院議員(74回)、篠田昭新潟市長(75回)がそれぞれ、ご自身と卒業生の活躍をお話しくださいました。

平成22年7月16日(金)、昨年までと会場を替え、ホテルオークラで同窓会総会が開催されました。会場前では、新潟高校吹奏楽部の1、2年生が、「月・星・大地」をテーマに、「ムーンプライトセレナーデ」、「星条旗よ永遠なれ」、「情熱大陸」で総勢575名の先輩方をお迎えし、温かい大きな拍手をいただきました。

懇親会中盤では、木村修映画監督(75回)がご自身のドキュメンタリー映画『立ち上がるイラク帰還兵』について、新潟市観光局の神田剛さん(81回)が、新しく計画された新潟市の観光ツアーについて話されました。また、渡邊毅さん(85回)から、11月に行われる講演会の案内がありました。



その後、最多出席期の発表、小林史佳さん(101回)による三味線演奏、お楽しみ抽選会などで、会は大いに盛り上がりました。最後は、昨年同様、行田充さん(84回)の指揮で「ますらお」の大合唱が行われ、風間士郎副会長(64回)のリードで万歳三唱がホールに響き、青山同窓会は大成功のうちに幕を閉じました。

東京青山同窓会総会に、初めて参加して

西巻 政信 (89回)

2010年11月12日、東京青山同窓会の当年度総会が、AINインターコンチネンタルホテル東京で開催された。出席者は計92名。この日は、温暖化に伴う昨今の高い湿度もなく、仕事帰りにジャケットを羽織つたまま出席するのに最適な天候だった。

今年の司会も、74回の工藤義夫氏である。森田健作(現千葉県知事)にも通じた爽やかさを彷彿させる口調で、午後6時30分、本総会がキックオフ。本同窓会会長の猪口孝氏(70回)の到着が公務で遅れたため、急遽、新潟高校校長、大滝祐幸氏のスピーチから開始されることになった。

本校は平成21年秋、北信越大会(野球)まで進出し、22年の選抜高校野球大会の「21世紀枠」に推薦されることが、ほぼ確実視されていたものの、残念ながら選に漏れてしまったとのこと。しかし、書道大会や医学部への進学率において、全国有数の高い実績を残し、さらには、米国や中国で生徒を学ばせる海外体験プログラムが順調に機能している等々。



私事で恐縮だが、小生は、現在の仕事の絡みで大滝均氏



(74回)と偶然接点ができ、それをきっかけにして本同窓会へ加入したばかり。テーブル席に座っていても、居心地が悪い。少し緊張しながら校長先生の話を押聴しているうちに、一瞬、頭の中は、自分の高校時代へとタイム・スリップしていた。

そして、猪口会長が到着。現実に引き戻された。会長によると最近、「日本の大手企業が、日本人の新卒者を採用しなくなっている」とのことである。

日本の若者は、英語を含む外国語が苦手。また、1つの例であるが、就職活動で「日本の民事訴訟法を勉強してきた」などとアピールするらしい。海外の法律に関する知識が求められているこの時勢において、これでは世界に通用しない。

これに対し、外国人の若者は、自分の母国語に加えて日本語を話し、英語も堪能であるという。これだけでも、「総合得点」において、日本の若者は及ばない。本邦企業が、生産拠点に加え

究開発の拠点を海外へシフトしていることもあって、外国人の若者の採用実績が増えている。要するに、日本人が「内向き」過ぎる。萎縮している」ということ。「日本人には、貪欲さ、海外への適応性、そして、挑戦する勇氣・力量が求められている。筋肉と同じで、頭も使わなければ強くない」(同会長)。

全く同感である。たまたま小生は、この3ヶ月間で、これに類する話を2回ほど聞いていた。最初は、電気・化学といった主要分野の技術流通(特に特許流通)に詳しい人からの説明。もう1回は、大手証券会社を取材先としていた筋からの話だった。

小生が知る限り、多国籍を企取る欧米の企業においても、本體(持株会社など)における役員は、その本體が設置されている国の出身者がほとんどで、とても「外向き」とは言い難い。しかし、そんな連中でも、自社の商品を海外の市場で販売し、それらの市場を「支配する」といっては何だかんだと貪欲だ。日本は、敗戦を経て、海外の国家に対する征服欲を消滅したが、多分この15年くらい、ビジネスにおいて外国の市場の「覇者であった」という欲求までもが萎えて

しまっている。このような去勢状態では、野心あふれる中国人や韓国人に勝てるはずもなからう。

さて、この度の総会では、青山同窓会の会長、長谷川義明氏(61回)も、来賓として出席されていた。本校は、2012年に創立百二十周年を迎えるため、新しい名簿の作成や、多くの記念事業を計画しているという。

以上をもって、本総会は終了。そのまま、第2部の懇親会へと移行した。乾杯の首領は、本同窓会の名譽会長、栗林貞一氏(59回)。その後、今回幹事を担当された74回有志による当時の白黒スライドの上映や、74回を担任された宮地正樹先生のお話、小林史佳氏(101回)による津軽三味線の名演奏、校歌斉唱、そして応援歌「ますらお」のシャウトへと続いた。

小生が本校に入学した頃は、ビリー・ジョエルの『素顔のままで』がヒットし、卒業の直前には、ジョン・レノンの『スターティング・オーヴァー』が流行っていた。前者の曲はグラミー賞を受賞し、後者の曲は、この元ビートルズを見舞った悲劇に

よって、スタンダード・ソング入りを果たしたが、本校の「ますらお」は、入学後の応援練習でみっちり仕込まれてから、同期生のスタンダード・ソングであり続けている。

学期の始業式や終業式では、どの学校でも校歌を歌うのが当たり前。しかし、小生の時代は、校歌を本来斉唱しなければならぬ時に、勝手に「ますらお」を歌い、ほとんど校歌を斉唱した記憶がない。そのような我儘が通った当時も当時だが、そんなこともあって、小生は校歌が上手く歌えない。実際、この度の懇親会でも「ロバク」が多く、少し気まずかった。

さて、本懇親会もお開きが近くなり、出席者全員で記念撮影をする頃には、小生も酔いが回って自分が記録担当であることと忘れ、はしゃいでいたが、一瞬、「こういった同窓会こそ正に、日本人が「内向き」になっていることの証拠ではないか」との思いが頭をよぎった。そう揶揄されたいにも、同窓会というものは、ビジネスなど横の連携につなげていくべきなのであろう。

関西青山同窓会開催

校内幹事 押木 洋 (87回)



平成22年11月27日(土)、今回で12回目となる「関西青山同窓会」が、大阪新阪急ホテルで開催されました。新潟から風間士郎青山同窓会副会長(64回)を迎え、32名が出席しました。定刻どおり午後6時30分に乙

川真理さん(83回)の司会で開会し、最初に関西青山同窓会会長である渡辺操さん(66回)より御挨拶がありました。続いて、昨年度の新潟の総会に出席し、関屋浜の浜茶屋を久しぶりに訪ねたという内山準之助さん(58回)の音頭で乾杯し、歓談となりました。今回は例年参加されてい

た方が若干少なく、たもの、現役大学生が10名と例年以上に多く、若々しく、にぎやかに自己紹介や近況報告や思い出話が交わされ、すぐに打ち解けた雰囲気となりました。若い現役学生

の皆さんも諸先輩方から昔の母校の話や経験談をお聞きし、楽しそうにすごしておりました。さて歓談の後しばらくして、新潟の風間副会長より御挨拶があり、創立百二十周年記念事業計画と大越健介氏を迎えて盛會だった青山学術文化講演会についての報告がありました。続いて校内幹事から母校の近況が報告されました。そして現役大学生紹介では、昨春関西の大学に入学した118回の5名(なん

といずれもサッカー部出身者)を含め、10名から自己紹介がありました。いずれの学生からも「来年また参加したい」という頼もしい言葉を聞きました。その後続いて行われた大先輩のスピーチでは、青木久馬さん(59回)からは母校の先輩会津八一の歌と人生について、高橋貞夫さん(65回)からは昨年7月の青山同窓会に参加した折に「天人」ゆかりの天神山城趾を訪れたことについて、近藤宏一さん(66回)からは退職後の趣味として12年間続いている植物観察について、川崎ヒロ子さん(67回)からは御自分が描き続けてきた絵(なんと万代島美術館にも所蔵されているそうです)についてお話がありました。改めて多士済々の先輩方である

青山同窓会総会のお知らせ 予定

日時：平成 23 年 7 月 15 日 (金)
 午後 5 時 30 分
 受付 5 時 40 分
 吹奏楽部演奏 6 時
 総会 6 時 30 分
 懇親会

会場：ホテルオークラ新潟
 TEL 025-224-6111
 会費：6,000 円



ご質問にお答えします
 幹事長 富山修一 (75回)

同窓生の方より「毎回、同窓会総会が金曜日に開催されるのには、何か理由があるのでしょうか。土曜日であれば、少々遠方の方々も参加されると思います」との質問がありました。この件につき回答いたします。

同窓会総会の出席者の大多数は、新潟市および近郊からの方々が多く、また勤務先も新潟市の方が多くおいでです。従って、休日に自宅からお出かけになるよりは、勤務が終わりのまま同窓会に出席される方が、出やすいとの配慮から週末の平日になった次第です。

なお百二十周年記念式典・祝賀会は平成24年10月20日の土曜日を予定しておりますので、どうぞご出席をお願い申し上げます。

「新潟県立新潟高等学校創立 百二十周年記念事業の概要決まる」

平成24年度に母校は創立百二十周年を迎えます。今年度に入りましてから、学校側・PTA・同窓会の三者で数度の会合を持ちました。その結果、以下の概要が決まりましたので、皆さまにお知らせいたします。内容は大きく分けて3つです。

第一は百二十周年記念式典・祝賀会の挙行です。平成24年10月20日(土)に行います。場所、時間、記念講演の内容等の詳細は後日決まり次第、皆さまにお知らせいたします。

第二は同窓会名簿の発刊です。近年、個人情報保護法の悪い解釈のせいでしょうか、名簿の整備に消極的な同窓会や個人が多くなっていると聞きます。しかし同窓会・同期会の開催に基礎となる名簿は欠かせません。この度、青山同窓会は個人情報漏えいに格段の配慮をした契約を印刷会社と結びました。また住所の表記を嫌がる同窓生にも配慮し、必ず本人の意思を確認してから名簿に掲載する事といたしました。

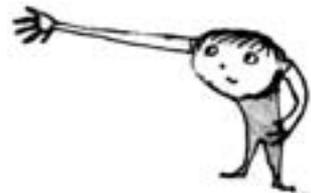
前回の名簿発刊から10年が経過して名簿のメンテナンスが必要で、スケジュールに則り進

- 平成 23 年 5 月 第 1 次調査カード(ハガキ)発送
調 査・確 認
- 平成 23 年 9 月 第 2 次調査カード(ハガキ)発送
調 査・確 認
- 平成 24 年 6 月 同窓会名簿完成・販売

そして最後の三番目の事業は同窓生による募金活動です。テーマは、「21世紀型学習環境の整備」であります。時代の環境変化に素早く対応し、現役生徒の授業環境を整える為、目標額3000万円として募金を集めます。使い道は①全国公立高校で初めて全教室へのコンピューター・プロジェクト書込み可能スクリーンシステムの整備②教室の窓ガラスへ遮光・遮熱フィルムの添付③自動カラー印刷製本機の導入他と言うものです。今年の春から来年にかけて一口

5千円とし、出来れば(可能な限り)2口以上とした募金を開始いたします。どうぞ格別なご協力をお願い申し上げます。社会に出てみて新潟高校卒業生から、地下水脈のように、有形無形にかかわりを持たせてもらい、影に日なたに助けてもらった事を考えますと、母校へその一端でも恩返しをしたいと思えます。繰り返しになりますが、皆さまも格段のご配慮とご協力をお願い申し上げます。

幹事長 富山修一(75回)



郵便往復はがき



往 信

青山 太郎 様

整理No.

重要 同窓会名簿発行のご案内

同窓会名簿 平成24年6月発行予定

県立新潟高等学校 青山同窓会

〒951-8127 新潟県新潟市中央区関屋下川原町2-635
県立新潟高等学校内

電話でのご連絡・お問合わせは混乱を招きますので、お手数ですが裏面の出版事務局まで文書にてお願いいたします。

調査「 年 月 日 」までに必ずご返送
カードは 願います。

調査カード兼名簿購入申込書

調査カードに記載されている事項に変更修正のある方及び修正のない方も、名簿予約の有無にかかわらず必ずご投函下さい。

名簿調査カード(ハガキ)に関するご注意

皆さまの所に学芸出版(株)から『新潟県立新潟高校名簿発刊のお知らせ』という往復ハガキが届いておられると思いますが、この名簿作成ハガキは青山同窓会とは一切係わりがありません！誤解のないようご注意願います。

なお、青山同窓会も学校創立120周年に向けて名簿の作成のためのハガキ調査を(株)第一印刷所に委託して平成23年5月ころ行います。

この名簿調査カード(ハガキ)内面の名簿発刊にあたっての挨拶文には必ず「青山同窓会・会長 長谷川義明」の発信人が明記されます。

こちらのハガキには格段のご協力をお願い申し上げます。

同窓生訪問

村山弘義さん(63回)を訪ねて

会報編集委員 坂井 奈津子(96回)



平成22年7月、日本相撲協会武蔵川理事長の後任として村山弘義さんが理事長代行に就任、というニュースに我が青山同窓生の活躍を喜んだ方は大勢いたと思います。

まずご経歴を紹介すると、昭和30年新潟高校卒、34年新潟大学人文学部卒、同年司法試験に合格され、2年間の司法修習を経て検事となり、最高検察庁公安部長から平成9年には札幌高等検察庁検事長に就任、さらに名古屋高等検察庁検事長を経て平成11年には東京高等検察庁検事長まで昇られました。その後退官、平成12年に弁護士登録、弁護士事務所を開設されました。現在は弁護士として第2の人生を歩んでおられますが、社会貢献をモットーに数々の役員等

を引受け、多忙な日々を過ごしておられます。

大相撲名古屋場所の写真をご覧になって分かる通り、力士たちと並んでもひげを取らない長身でいらつしやるので、高校時代はどんなスポーツで活躍されたのかお聞きしたところ、相撲は取っていないですよ。新潟市郊外の松浜に実家があり、晴れた日は自転車、天気が悪ければ当時まだ本数も少なかったバスで通学していたので、それだけで時間がかかってしまいましたが、町場の中学校出身者のレベルの高さにショックを受けて、追い付かねばならないという気持ちがあったものだから、部活動はしなかったです。」

とは言え、体格の良さを放っておかれる筈もなく、いくつかの運動部から勧誘があったそうです。しかし、2年生終わりの修学旅行中に新潟高校が火災のため校舎が焼失、学校自体が部活動をするような状況ではなくなってしまったのです。

高校卒業後、新潟大学人文学部社会科学科法律課程に入学されたのですが、最初から法曹の道を目指していたわけではなかったそうです。

進路を考えるきっかけになったのは大学3年の時、先輩が司法試験に合格して活躍されているのを知り、法律家を目指すことを決意したそうです。1年間の猛勉強の末、司法試験に合格されました。

「司法試験に合格すると、法曹すなわち判事、検事、弁護士という3つの選択肢が与えられます。最初は弁護士になろうと思いましたが、先輩から『弁護士ならいつでも出来る』と言われ、判事が検事かと迷った末、検事という職業の方が自分の性格に向いているのではないかと思

い、検事の道を選んだのです。」

検事という職業には広い裁量権が与えられており、個人の手腕を遺憾なく発揮できるので、実力を正しく評価してもらえる事に大きな魅力とやりがいを感じたそうです。職業柄、検事は地元での癒着を避けるため、3年毎の転勤が課され社交範囲も制限されるそうです。検事時代に扱った事件や仕事のことは絶対に口外しないという、その姿勢に職業倫理の高さを感じました。

そして現在は、ご存じのとおり理事長代行を経て相撲協会の副理事長を務めていらつしやいます。

「もともと相撲が好きで、東京場所も見に行っていたし、相撲部屋の行事に参加する等、幅広く親方達と交流があったので、外部理事の話があり軽い気持ちで引き受けたら、いつの間にか巻き込まれてしまったという感じです。」

外部理事に対しての理事会の反応はどうだったのかと言つと、「始めは、内部の親方達から歓迎されていない雰囲気を感じたけれど、外部の人間も相撲ファンとして一肌ぬいでくれるという事を徐々に理解してくれたようです。今は、副理事長として主に協会運営の対外的な面でのサポートをしています。」

心底相撲を愛してやまない村山さんですが、新潟出身の力士が少ないことを残念がっています。「地元紙に郷土出身力士の星取表が掲載されると励みになると思うんだけどね。大いに、新潟の若い人に活躍してほしい。」

新潟への熱い思いから、同窓会等の活動にも尽力されていて、昨春までの10年間、新潟大学人文・法・経済学部同窓会首都圏支部長を務められました。

「青山同窓会は総会も盛大で、伝統もあり盤石な組織で活発に活動している。それに対して大学はまだまだだったの、盛り上げようとの思いで引き受けました。」



東京青山同窓会総会会場であるホテルの隣りに、村山さんの「青陵法律事務所」があります。

「新潟高校が自分の原点であるという思いから名付けました。同窓生や友人が夕方になると集まって、新潟の酒を飲みながら話をするような場所になるといいですね。青陵の意味を聞かれる度に青陵健児の話をするんですよ。」

青陵健児の精神を受け継ぐ後輩たちには、「私が先輩を見習つて司法試験にチャレンジしたように是非法曹を目指して活躍して欲しい。」とのメッセージでした。

たまたま新潟市内での会議にご出席と伺い、ご多忙にも拘わらずお話を聞かせて頂き、大変ありがとうございました。

URL http://www.geocities.jp/niigata_aoyama/ E-mail niigata_aoyama@yahoo.co.jp



青山発世界元気・健康

医師・新潟県元気大使

佐藤万成さん (91 回)

最初に背伸び呼吸法を実践してみる。両手を両耳につくくらい真上に上げ 5 秒深呼吸をする。これを 3 回繰り返す。自然と腹式呼吸になりホルモンも分泌されてくる。

新潟大学医学部進学。卒業後は第三内科（消化器）に入局。大学院進学。免疫で有名な教授の下で研究、鼠を使い胸腺以外でも免疫細胞が作られる実験を行う。平成 12 年に新潟市青山でさとう内科・青山クリニック開業。平成 22 年に第二代新潟県元気大使に任命される。使命は新潟県を元気にする事。新潟県を健康長寿日本一にすることを目指し活動をする。

長寿日本一の県は 20 年間長野県で、医療費を日本一使っていない県。平均寿命男女とも日本一。新潟県は女 9 位男 23 位で、医療費を使わない順は長野について 2 位。新潟県人は我慢強いといえるが、我慢して医療費を使わないうちに死んでしまう。女は伴侶が死亡しても長命だが、男は生活の乱れか伴侶の死後 3 年以内に 8 割が死んでしまう。

女性の肥満が少ない県順序は東京、大阪、京都の順で新潟は 4 位である。男は新潟が第 1 位。ちなみに東京で一番出世する条件は奥さんが新潟県出身とも言われる。色白、長身、やせていて 性格はキツイ。(笑)

離婚しない率全国 2 位は島根県で、平均寿命は男 29 位、女 2 位である。ダンナが早死にすると奥さんは長生きする図式が見える。(笑) 新潟県の男が長生きするには奥さんから長生きしてもらう事が大事で、男は毎日奥さんを心にもない言葉でほめて暮らすと新潟県の平均寿命が上がる。(笑)

新潟市の死亡率は高く、政令指定都市のなかで一番である。死亡原因は、癌 (30%) 心臓疾患 (16%) 脳疾患 (14%) 肺炎 (10%) 事故自殺の順である。新潟県民の寿命を延ばすにはこの上位 3 疾患 (60%) の癌、動脈硬化を克服することにある。長野県のスローガンは P P K であるがこれはピンピンコロリということで 100 歳まで元気で生きて、ある日寿命でころっと死ぬ事 (笑)。新潟もこれを目指さねばならない。

元気大使は「ケーシーズ」という名称を頂いている。子供のころから好きだったケーシー高峰さんのケーシーを拝借して笑いを交えた話の中で健康 UP の P R 活動をしている。

動脈硬化予防は腹八分目である。脂肪たくわえ曲線というのがあり、午後 3 時ころが一番低く午後 10 時から夜中の 2 時くらいが一番高い。この時間に食べると脂肪がたまる。酒飲んでのラーメンは実は首絞めラーメンであり、脳梗塞、心筋梗塞の原因になる。腹八分目をモットーにすれば健康になり食費もかからない。(笑)

冷えは万病の元。癌の予防は免疫力の UP である。体温を 1 度上げることにより免疫が 30% UP する。体温が 1 度下がると癌になる確率が 3 倍になり脂肪は 12% つきやすい。この 30 年間で子供の体温は 0.5 度

下がり、大人の体温は 1 度下がっている。先進国のなかで日本だけが癌の死亡者が増えている。医師の数は 2 倍になったが、癌死亡者は 3 倍になった。原因は冷暖房完備による冷えすぎ、車社会、パソコン、TV ゲームなどによる筋力不足が考えられる。都会だけでなく田舎でも同じ。対処としては冒頭にやった背伸び呼吸法。犬猫赤ちゃんも普通に背伸びをする。(笑)

姿勢を良くし背伸びし腹式呼吸をすると基礎代謝が上がり、腰痛改善・肥満解消・不眠症・便秘・アトピーにも有効だとわかった。姿勢を正し胸を張っていることはビジネスにも有効。呼吸はカラオケも良いが金のかからないフロオケもよい。家の風呂にゆっくりつかり歌を歌う。(美川憲一さんのさそり座の女を熱唱。会場爆笑)

笑いは副作用のない良質の薬。精神が安定し血圧低下、癌もよくなり、延命効果もある。笑うと体内にある血糖値を下げる因子が働き出す。笑いは免疫を良好にして癌やアトピーに効果がある。自然治癒力がある。作り笑いもほとんど同じ効果がある。朝、鏡を見ながら作り笑いをしてニターっとするとこの効果が出る。これもタダです。(笑)

新潟県では 2 つの健康法運動をやっている。

1. 新潟減塩ルネッサンス。塩分を取りすぎないように野菜を多く取ろうという運動。野菜に含まれるカリウムがナトリウム排出に有効。癌になりにくい野菜はニンニク、キャベツ、大豆 (枝豆も)。減塩＝野菜である。
2. 歩こう NIIGATA 大作戦。歩くだけだと疲れて猫背になっていくので推奨しているのは「作り笑い背伸びウォーキング」(ステージで実演されたが会場爆笑)。東京では駅でエレベータなど乗らず歩く。新宿渋谷などの人ごみで作り笑い背伸びウォーキングをやると混んでいてもサーっと人ごみが離れずいすい歩ける。(笑)

新潟県では良く嘸むことで健康になろうという運動もしている。よく嘸んで健康になるメリットは「ひとがすき」効果。

ひ 肥満予防効果あり

と 糖尿改善効果

が がん予防 唾液が多いと悪玉菌が増えにくい
す ストレス解消

き 記憶力 UP 脳に刺激がいくため つまみ
はするめがよい (「舟歌」熱唱会場爆笑)

明るく楽しく元気よく、腹八分目、冷えは万病の元
笑う門には福来る、が大切。

(石井智裕)

あとがき

今話題の NHK ニュースウオッチ 9 の大越キャスターと、専門分野の医学を通して県民に元気いっぱいな情報を提供し続ける佐藤医師の講演会で満員札止めの入場者となりました。10 月末以降の申し込みをされた方々にはお断りをする事になり申し訳ございませんでした。ご多忙のところ講師を引き受けていただいた大越さん、佐藤さんのますますのご活躍をお祈り申し上げます。

第 7 回 青山学術文化講演会開催報告

石井 智裕 (79 回)
戸松 康雄 (88 回)

昨年 11 月 20 日第 7 回青山学術文化講演会が、新潟高校視聴覚ホール (400 人収容) で開催されました。

今回の講師は次の方々です。

- 1 大越健介さん (88 回)
NHK ニュースウオッチ 9 キャスター
- 2 佐藤万成さん (91 回)
医師・新潟県元気大使

以下、それぞれのご講演について要旨を報告します。



講演 1 「ニュースの現場から」
大越健介さん (88 回)

キャスターという仕事はアナウンサーとしての能力以外のものが求められると思っている。私は 1985 年に NHK に入ってから記者一筋で過ごしてきた。初任地の岡山で 4 年間、警察回り、県庁回りなどを担当し、1989 年から政治部、2005 年から 4 年間、ワシントンで支局長として勤務した。取材経験とか、これまでいろんな場で学んだことを生かして、キャスターとしてニュースを伝えることが私の役割だと思う。他の人が書いた原稿をただ読むのではなく、しっかりと自分の見方や、自分の伝えたいことを私の声で伝えるのが、毎日の仕事だ。

午前中に 1 年生と 2 年生の生徒に 1 時間半、話した。生徒から寄せられた質問は鋭いものばかりで、その中に「NHK は公共放送で、中立性が求められると思います。あなたの発言は時々中立性から逸脱しているのではないですか」というものがあつた。私は「あなたの質問はまさに神髄を突いている。私の目指すところは、まさにそこなんです」と話した。

右肩上がり時代の時代と異なり、今の時代では、テレビを見ている人は何かメッセージを求めているのではないかと思う。素っ気ない「右もあって、左もあって、真ん中はどれでしょう」というニュースではなく、「右という見方もあって、左という見方もありますが、どちらかという右の方が強いのではないのでしょうか」という伝え方をするのが、今の時代に必要なのではないかと思う。テレビを見ている方が求めているのは、ある種の方向性や指針、進むべきメッセージというものだと思う。公共放送というと、公平・中立、正確さ、と言われるが、視聴者のニーズに真剣に答えていかなければならないと思っている。ただ私の私見を述べるのではなく、私という媒体を通じて映る政治や経済、社会の姿を伝えるのが新しい公共放送のあり方だと思う。

政治記者として取材した目で見ると、この 20 年間は、世の中で信頼が失われ、自信が失われた時代だったと思う。(「喪失とストレスの時代」と題した年表を提示)

政治では、リクルート事件の後、1992 年に経世会 (自民党・旧竹下派) の分裂があつた。細川内閣の後、自

民党は社会党の委員長を首相に担ぐという「禁じ手」を使って政権に復帰した。しかし、自民党はその後、ひとりで政権を維持できなくなった。小泉政権は、自民党の本質を言い当てたものだった。「自民党をぶっ壊す」と言って総理になり、一時的に自民党を浮揚させたが、これは線香花火が燃え尽きる前に一瞬明るくなるようなものだった。その小泉氏が引退したら、その後は尻すぼみとなり、昨年、民主党に政権が移った。自民党を中心とした政治の権威が崩れた 20 年間だった。

経済はどうかといえば、バブル崩壊から株価が下がり、1997 年に金融破綻が起こり、北海道拓殖銀行や山一証券が潰れ、長銀、日債銀が破綻した。「経済一流、政治は二級」と言われたが、その経済も二流、三流だったという意識が蔓延した。

自信が喪失される中で、われわれの中ではストレスがたまる。このストレスのはけ口の役割をしてきたのが検察だと思う。国民の中にたまったガスを抜くような形で、東京地検特捜部が時々、政治家や経済事件を摘発した。最後の権威が東京地検だった。ところが、その検察への信頼が、証拠改ざん事件で失墜した。

実は、もうひとつの権威がある。それがマスコミだ。尖閣沖の事件のネットへの映像流出事件は、国民が「なぜ公開しないのか」という不満がたまっていた時に、ちょうどまくヒットしたものだった。本当はきちんと管理されるべき情報なのに、「知る権利」に応える形になったため、大ヒットとなるという皮肉な結果になった。これは、私たちを含めた大手マスコミに対する否定でもある。インターネットを通じて、1 人 1 人が放送局になったように、情報を行き渡らせることができるようになった。私たちも既存の権威の側だった、ということが見透かされる事件だった。

営々と築かれてきた権威あるものが崩壊している。だから不安を感じる人が多いのだろう。この不安は、若い人たちがより強く感じているものだと思う。

でも、私は生徒たちにこう伝えたい。「今がリセットの時期なんだ。今までの古いしがらみとか、特権とかが、みんな世の中に対してひれ伏した状態だ。悪いところをそぎ落とせば、ゼロから事態を好転させることができる。これからはあなたたちの時代だ」

(戸松康雄)



追悼文

鈴木正二元会長を偲んで

上村 光司 (50回)



平成 13 年青山同窓会総会にて乾杯のご発声をされる故鈴木正二元会長 (同窓会所蔵写真より)

5日ぶりかで青空が広がった平成22年11月4日正午からイタリヤ軒で、鈴木正二さん(37回)のお別れの会が営まれました。白雲か波のうねりかとも見える白菊の大花壇、その上の遺影に約800人が同じ白菊の一枝を献じました。

鈴木さんは昭和62年7月の総会で、鍵富清一郎さん(19回)のあとを受けて青山同窓会会長に選任され、4期8年間お勤めになりました。就任当初から照準を定めていたのは、5年後の平成4年に控えた母校創立百周年

年記念事業だったと思います。学校やPTAの希望を聞きながら平成元年に準備委員会を充足させ、その委員長になられたのですが、当時すでに要望が強くなっていた校舎改築問題で何回も県に陳情するなど、要所で先頭に立って推進されたのを覚えていいます。

大盛事を成し遂げた記念事業の一つに「青山百年史」の刊行があり、鈴木会長の、新たな第一歩を期待する「発刊の辞」が載っていますが、「第四銀行百年史(昭和48年刊)」にも頭取として述べておられます。鈴木さんは曾祖父以来三代続いて第四銀行取締役だった家に生まれ、自然の流れのように銀行に入り、昭和47年に頭取になられた。高度経済成長の時流の中で、着実な手法で、現在の第四銀行の基礎を築いた人とされています。

手堅い経営者の鈴木さんですが、遊ぶこともお好きだった。親睦のための幾つかの会の肝入りでした。同窓会内では平成元年に「鈴木会長杯ゴルフコンペ」を始められ、「青山ゴルフ会」として今に続いているし、経済界の友人などで70歳以上(女性は55歳以上)を有資格者としたゴルフ会「若松会」を楽しんでおられました。また高齢化社会を見通して、100歳まで生きて人生を楽しみ、社会に役立つことをしよう、との「百知楽生会」の重鎮でもありました。

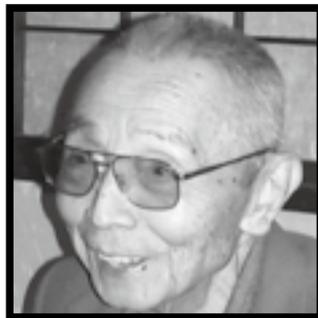
同窓会の総会、新年会をはじめ、酒を伴う席には愛用の盃を持参された。直径2センチ余りの錫細工、外側に松竹梅の彫り。1合で20杯もとれようかというもの。大勢から注されるのを受け、しかも量が過ぎないようにとの配慮だった。お元気だったころの宴席は「飲むは唄うは、拳をうつは」の大粋人だったそうです。

鈴木さんは平成元年から13年

間、旧制新潟高等学校の同窓会「六花会」の会長でもあった。その月例会で、半世紀も続いている「十日会」にも皆勤賞もいただいた。体調を見切られてか、一昨年7月の例会を限りにス

大黒善弥さん(50回)の思い出を

青山水友会会長 平田 大六(60回)



間、旧制新潟高等学校の同窓会「六花会」の会長でもあった。その月例会で、半世紀も続いている「十日会」にも皆勤賞もいただいた。体調を見切られてか、一昨年7月の例会を限りにス

パツと引かれたが、最後まで和やかに、しかも端然として格別の風格だったと聞いています。背筋を伸ばし折り目正しく、よく働きよく遊びー人生の達人と云うべきかと思えます。

新潟高校水泳部OBの青山水友会会長の大黒善弥さん(50回)が2010年5月13日、病で逝去されました。母校や水泳部にとつても、かけがえのない人で、残念です。

大黒さんは、1925年6月15日生。県立新潟中学校を1943年3月に卒業され、旧新潟高校、新潟医科大学(新大医学部)から外科医になられました。長岡赤十字病院外科部長を経て燕労災病院長になられた時「ここがオレの墓場らて」と

云っておられました。「墓場」後は、新潟市田中町の自宅にもどり、新高プールで選手を激励されたり、医者にかくれてタバコをやり、奥様と二人で自適を楽しんでおられました。その間、医学界での功績で勲四等旭日小綬章をうけられました。

以上が、正式の素姓です。

8年先輩の大黒さんにお会いしたのは、私が新潟中学一年生の時です。先輩たちが時々プールへ来られ指導されるのは普通でしたが、大黒さんが来られる回数は「異常」でした。自然にコーチ、監督になられました。専門は自由型短距離で、めつばう速い。1946年の第1回東部インターハイ100mで優勝してる、と上級生がそつと教えてくれました。

大黒さんの練習はキツイ。そのきびしさは、伝説的に下級生

へと語りつがれました。「カゼで熱や?泳いで冷やせ!」「腹痛い?プールの水飲めば治る!」。医者には従います。大会ではプールサイドでカンフル注射もしてくれました。「新高は医者付きだ」、よその選手はうらやんでいましたが、今ならドーピングかもしれません。

熱血の人でした。試合で負けた日、全員が部室(ぶしつ)の床に正座させられたことがあります。「先生や親に叱られても、オレが毎日プールへ来るんは、オマエラに勝たせたい!...」。?そつと見上げると泣いているんです。あの大黒さんが、です。

その頃、まだプールのない新潟中央高、明訓高がプールを借りにきていて、大黒さんは、その選手たちをも一緒にめんどろみっておられました。これが今に残る青山水練道場です。

21世紀になつてからは、マスターズ水泳で、日本新や大会記録で優勝され、日本水泳連盟有功賞受賞もありました。私たち道場の弟子たちは、大黒さんと大宴会です。慕われていたので、「もう飲むタネがなくなる、今度のタネはオレの葬式だ」と笑わせましたが、それが5月15日の通夜の晩、大勢の弟子たちも集った大痛飲会でした。ご冥福を祈ります。

同期会報告

卒業56周年に集う

山本 眞弓 (62回)

ようやく猛暑が去り、風が木の香を運びはじめた平成22年10月11日、新潟グラントホテルに62回同期生が集まった。

第1回の同期会は卒後30年目の昭和59年。あれから26年、第8回に当たる今回は出席72名、その約7割が地元組、2割弱が首都圏から、さらに三



重県、愛知県、石川県、遠く岩手県からは杉内愛さんが参加。女性5名のうち4名が未亡人なのも年齢相応といふべきか。

再び会を喜び合うロビーの輪のなかに、大患を乗り越えたという渡辺富二雄氏の笑顔も見えてほっとする。

オープニングは皆川重氏の奏でるピアノの音。司会の星野陸夫氏の発声に従って黙祷。これまでに332人の仲間のおよそ2割、64人が鬼籍に入った由心から冥福を祈る。続いて恒例の校歌斉唱。私たちが在学中の昭和27年に創立60周年を記念して創られた「百里流れて」の当時の歌詞

と譜面のリーフの復元版が配られ、歌いつつ感慨もひとしお。永井梓氏の音頭で乾杯のあと、たちまち大小の歓談の輪ができる。なにしろ欠席の理由の大半が体調不良、出席者といえども体に何らかの問題を抱えている人が多いとあって、あちこちで健康談義に花が咲く。明るい話題は、野球部の28年ぶりの北信越大会出場と、選抜高校野球大会の21世紀杯へのエントリー。そういえば確か私たちが2年生のとき、県大会で優勝したものの、松商学園に甲子園出場を阻まれたと記憶する。積年の夢が叶うのも近しと一同大いに盛り上がる。

渾名で呼び合い新潟弁で談笑するみんなの頭の上に、心の中に盛り上がる。中村義一氏のリードで「丈夫斉唱、帆刈宏典氏のユーモアたっぷり締めでお開きとなり、語り足りない向きは二次会へと流れて行く。明日のゴルフは好天に恵まれそうだ。2年後には喜寿を迎える私たち、母校の創立百二十周年に合わせ再会が予定されている。末筆ながら原正雄幹事長はじめ幹事の皆さま、心とむ一夕をありがとうございました。

卒業55年 赤羽 良樹 (63回)

前を想う。さて、いよいよ山本君の司会進行で開宴。ただお一人出席いただいた松浪先生の御祝辞、「91才になりました。一同どよめく。若い！顔つや、元気な声、昔と変らない。パワーをいただきました。」

続いて時の人、日本相撲協会副理事長の村山弘義氏のスピーチ、乾杯の発声。新潟きれいどころも入って一気に盛り上げる。しばらく歓談。そして横田君の指揮で新旧校歌、応援歌を歌う。歌詞カードを用意していたけれど、皆歌い出すと自然に思い出してきて、殆んど要らなかつたんじゃないか。

ア軒に宿泊してもらおうようになってるから安心……秋の夜は長かった。

全員揃ったところで、いつものように和田君に記念写真を撮ってもらおう。総勢55名、内女性4名。60名以上、女性7名以上を目標としていたが、まあ仕方ないか。先程写っていた卒業30年記念の行形亭の時は、最前列の先生方14名、女性9名、総勢ジャスト100名だったなあ……と25年

最後は私赤羽が三本メでしめて、ひとまずお開き。12階へ上つて、新潟の夜景を眺めながら歓談を続けるグループ。6階の和室へ、きれいどころ共々移動して2次会としゃれこむグループ。遠方からの参加者はイタリ

翌日、紫雲ゴルフ場で行われた記念ゴルフ会。7名参加して村山君が優勝と聞く。やあ、立派——。

次は、3年後、喜寿の祝に再び盛大に集まろう。皆さん、お元気で！



68 回卒業 50 周年 記念イベント開催

田中 宣男 (68回)

68 回卒業 50 周年記念イベントは、平成 22 年 6 月 4 日の「卒業 50 周年記念風」での白根大風合戦参戦で始まり、青空に高々と揚がった風は、50 年前の 68 回生の如く若々しく凛々しい青陵健児そのものでした。

9 月 9 日からは若松昌弘実行委員長による「第 7 回青山 68 会展」を N S T ギャラリーで開催し、長谷川同窓会長、松沢照然先生の「書」を含め、68 回生の力作が展示され、テレビ、新聞等にも紹介されました。また、同期の真野義昭社中による「呈茶」のサービスも行われ好評のうち閉幕いたしました。

9 月 12 日はイベントのメイン「卒業 50 周年記念パーティー」がイタリヤ軒で華々しく開催されました。来賓に大橋禎助先生、松波清先生、瀧沢強一先生をお迎えし 68 回生 109 名加えて総勢 112 名の参加でした。

パーティーは真野義昭君の軽妙な司会で始まり、藤田実君のピアノ伴奏で校歌斉唱、青山 68 回生北村泰作君の開会挨拶、来賓を代表しての大橋先生の

ユーモア溢れる挨拶で会場の雰囲気も一気に和み、東京青山 68 回生村山隆男君の乾杯と続き、最後は元応援団長の近藤義雄君のリードで応援歌を全員で合唱し、いつも元気な今野公和君の一本締めで終了しました。

引き続き 12 階の「ゴンドリーナ」に移動して 2 次会が行われました。更に調子の上がつき、真野君の司会のもと、布川英朗君のトランプ、横山清夫君のトロンボンの演奏、そして最後は「高校三年生」を全員で唄い、延々 5 時間半のパーティーは終わりました。

更に 3 次会は、日曜日の休みなのに開店させた古町「博多」で 25 名参加し、最後の盛り上がりで全員酔い散会しました。翌日はイベントの最後を飾り「第 50 回青山 68 ゴルフコンペ」が 30 名参加して、紫雲ゴルフ倶楽部で行われました。優勝は齋藤正果君、準優勝は広沢淳夫君、特別賞はアウト、イン 20 打差の大波賞の小川克介君でした。表彰式は新潟駅構内の「チサンホテル」で行い大いに盛り上がり、これで記念イベントの全てが無事終了し、半年前から準備してきた幹事一同はほっと致しました。60 周年はどうするかは未定です。いやお疲れ様でした。



第 72 回卒業 45 周年記念同期会

実行幹事 渡辺 毅之 (72回)

卒業 45 周年を迎えた私共、72 回卒業生。

イタリヤ軒で、平成 22 年 9 月 25 日に同期会を開催しました。恩師の星先生、宮地先生、瀧沢先生をお迎えし、県の内外から、同期生 98 人が、秋晴れの新潟に集結。

恩師のありがたいお話の後、同期生の鈴木陽子さんの詩吟「良寛」が披露され、同期生一同、感嘆！

特別に呼んだ古町芸子さんのお酌で、東京から馳せ参じた斉藤君(元日航機長の発声で乾杯。その後、その古町芸子さん

の舞が披露されたりし、同期生相互で和やかに歓談。元スリング部の賀

井君、同合唱団の樋浦君の指揮の下、玲瓏の天、ますらお、校歌を参加同期生全員で、声高らかに斉唱。余韻が残る中での、取りあえず 1 次会の散会。

同じ会場の最上階で引き続き、73 人が参加しての 2



次会の開宴。クラス別にテーブルに集まり、当時の思い出話に花を咲かせ、旧交を暖めました。次回の 5 年後の再会を約して、同期生各位、それぞれ、3 次会いや 4 次会に向かい、深夜帰宅の途に着いた事でしょう。

第 83 回同期会報告

幹事 高山 郁男 (83回)

昭和 50 年卒業(第 83 回)の学年同窓会が、平成 22 年 8 月 14 日に新潟東映ホテルで開催されました。当学年は卒業後 25 年目に第 1 回を開催して以来 5 年ごとの開催を定例としており、今回は卒業 35 年目の第 3 回に当たります。

当日は、松浪清先生を筆頭

に、丸山庸先生、葉葺公先生、高木睦弘先生、曾我浩先生、上杉雅之先生、永井成一先生と 7 名の恩師をお迎えし、卒業生も国内各地はもとより、赴任先の海外からの参加組もあり総勢 120 名の盛会となりました。

物故された先生と同級生に黙

長から開会挨拶、先生方からお一人ずつ暖かみのある励ましのお言葉、懐かしいお話、近況などを交えたご挨拶をいただき、永井先生のご発声で乾杯、宴が始まりました。通常の宴席は 2 時間から長くても 3 時間だそうですが、この日はホテルに無理をお願いし、ゆつくりと話ができ旧交を温められるよう何と 4 時間の長丁場を企画しました。

最初は卒業時のクラスごとに



88期同期会報告

林 岳人 (88回)

時を忘れま
した。

我ら同級
生も気がつ
くと五十路

の半ばに差
しかかり、
皆忙しく活
躍されてい
る中で、こ
のように多
くの旧友に
参加いただ
き大変あり
がとうござ
いました。

今回を含め
過去の同期
会はお盆休
み時期に開
催していま
したが、逆

にこの時期では参加できないと
いう方もいるであろうと、次回
5年後の開催は秋10月を予定し
ています。次回もぜひ大勢の
方々に元気な顔で参加いただき
たく宜しく願います。最後
に事務局をとめてくれた清水
君初め、各クラスの幹事諸君大
変ご苦労様でした。なお、当
日の様子は、<http://asset.sakura.ne.jp/aoyama/>に掲載
されています。

平成22年7月17日「卒業30周
年同期会」を開催致しました。
5年前に120名超の参加が
あつた25周年に続く、2回目の
大きな会です。今回も100名
を超える（東京・大阪は勿論の
事、遠く嫁ぎ先の九州から、更
に遠くは単身赴任先のシンガ
ポールから）参加者で大いに盛
り上がりました。

当日の様子は内輪話に過ぎま
せんので割愛させて頂き、これ
から同期会を開催したいとお考
えの幹事のご
参考になれば
と思い準備作
業に關しての
報告をさせて
頂きます。

すべては5
年前、同窓会役
員の渋谷氏が、
青々会（若手同
窓会）に顔を出
していた4、5
人の同期生
に「同期会やら
ない？」と話を
切出した事か
ら始まります。

声をかけられた面々は交流を続
けていた友人達を誘い、最終的
に各クラス2名の幹事を選出し
ました。そして開催の約3カ月
前、事務局から提供頂いた名簿
を基にクラス毎に発送した往復
ハガキが「卒業以来初の同期会
の案内」となりました。既に実
家も新潟から移動されて連絡の
取れない場合もありますが、8
割の方の所在は判明すると思
います。案内と並行して簡単
なHPの開設も必要になりま

す。参加予定者を掲載すると「彼
が彼女が出るのなら自分も」こ
と参加を決める方も出て来るの
で、HP上で申込可能な形態を
整えておく必要があります。更
に「この人と未だ連絡がついて
いません」のページを作ってお
くと情報が得られる場合もあり
ます。又、当日の宴会は最低3
時間の確保が必要かと思いま
す。腰を落着けて存分に飲みた
い方、仕事・家庭の都合で中途
退席しなければならぬ方、
色々ありますが一次会は長い時間
設定をお勧めします。数十年振
りの3時間など、あつという間
に過ぎてしましますから。「1
人の発起人」と「3、4人の乗
りの良い仲間」と「同窓会事
務局の協力」が揃えば必ず楽
しい同期会が開けます。「皆ど
うしてるかな」と思った時、ま
ず声を上げてみては如何でしょ
うか。

平成22年8月14日（土）、A
NAクラウンプラザホテル新潟
において、卒業20周年を記念し
て第98期同期会が開催されま
した。同期会としては卒業以来で
したが、当日はお盆の時期だつ
たこともあり、新潟在住者だけ
でなく県外から帰省を兼ねて参
加した人も多く、先生7名、同
期生155名を集める大規模な
会となりました。予想を超える
参加者数に、幹事一同嬉しい悲
鳴を上げました。

会に先立ち、逝去された大野
米二先生、田中英智先生、そし
て同期生への黙祷を行いました。
来賓の先生方のご紹介の後、
先生方を代表して4組の担任
の新潟高校校舎の写真を元につ

たった山崎誠先生にご挨拶をい
ただき、7組の担任だった栃倉
浩先生に乾杯のご発声をいただ
きました。先生方が当時と変わ
らずお元気で嬉しく思いました。
歓談の時間ではクラスごとに
テーブルを分けたにも関わら
ず、あまりの懐かしさに各テー
ブルを歩き回る人が続出し、ほ
とんどクラス分けが意味をなさ
ない状態になりました。卒業し
て20年経っており、その間に相
当変わった人、学生時代と変わ
らない人それぞれですが、担任
の先生を囲んだ時には、皆、学
生の頃の顔に戻っていました。
その後、卒業アルバムと現在

の疲れもどこへやら、女性陣を
含め多くの方々が、2次会、3
次会に参加され、尽きぬ話に

え話に花が咲きましたが、杯が
進むにつれ席の大移動も始ま
り、あちらこちらで近況報告
思い出話、談笑に爆笑と和気
藹々な宴席が続きました。半ば
では、壇上でクラスごとの一言
挨拶と記念撮影も行い、中締め
では田宮君の音頭で、エールと
丈夫、大いに盛り上がり大宴会
の御開きとなりました。4時間

日の様子は、<http://asset.sakura.ne.jp/aoyama/>に掲載
されています。

平成22年8月14日（土）、A
NAクラウンプラザホテル新潟
において、卒業20周年を記念し
て第98期同期会が開催されま
した。同期会としては卒業以来で
したが、当日はお盆の時期だつ
たこともあり、新潟在住者だけ
でなく県外から帰省を兼ねて参
加した人も多く、先生7名、同
期生155名を集める大規模な
会となりました。予想を超える
参加者数に、幹事一同嬉しい悲
鳴を上げました。



98期卒業20周年の集い

荒木 武 (98回)

平成22年8月14日（土）、A
NAクラウンプラザホテル新潟
において、卒業20周年を記念し
て第98期同期会が開催されま
した。同期会としては卒業以来で
したが、当日はお盆の時期だつ
たこともあり、新潟在住者だけ
でなく県外から帰省を兼ねて参
加した人も多く、先生7名、同
期生155名を集める大規模な
会となりました。予想を超える
参加者数に、幹事一同嬉しい悲
鳴を上げました。



くつたスライドの上映会では、懐かしい写真に「オー」と歓声が上がりました。

先生方に感謝の気持ちを込めて花束と記念品を贈呈し、多少の無理を覚悟で162名全員をステージに集めて全体写真を撮影し、最後に宮尾正彦応援団長のリードで恒例の「ますらお」斉唱を行いました。

あつと言う間の2時間で、話し足りないという意見もありましたが、あとは2次会に任せる事とし、皆の懐かしい笑顔に、幹事一同やって良かったなど握手を交わしました。

準備と当日設営のために奔走していただいた



幹事の皆さんに感謝しつつ、30周年でもっと多くの参加者を集められるよう準備したいと思えます。

平成20年に盛大な懇親会が開催され、16回卒業生の皆様は5名も参加していただき、楽しい一時を過ごすことができました。その後、皆様いかがお過ごしでしょうか？

私達16回生はとにかく真面目で、看護の仕事に携わっている方や、子育て中の方など、皆さん

通信の思い出

横山 まゆみ (通16回)

昭和40年代は好景気で、当時昭和40年代は好景気で、当日は日曜出勤やサービス残業があり、月2回のスクーリングに参加するのには上司に許可をもらうのに、心臓がドキドキだった事を覚えています。

そんな中、週1回地域の通信の仲間が集まる学習会は、とても楽しく、待ち遠しいものでした。特に1年生の時は数学が分からず、進級が危ぶまれていた時、先輩の松澤さんに丁寧に教えていただき、無事、進級できた事は、今でも感謝しています。

私の失敗談を1つお話しします。

その年は編集部の

役員をしていました。スキー合宿に参加し、原稿を持ち帰ったのに、仕事が忙しく、すっかり忘れていたのです。先生からの電話で思い出し、「すみません、仕事が忙しくて」と言うと「そうか」と、おしかりを受ける訳でもなく、先生方で対処して下さいったのです。

今でも本当に申し訳なく思っています。

現在は私は新潟市の日本語指導協力者として年に数人の外国の子供達と関わっています。

とても楽しい仕事です。外国の事など何も知らなかった私に彼等は様々な事を教えてくれました。

どんな子供達も学ぶ事が大好き

きなこと、子供達の可能性が無限な事、待つ事の大切さ等。

今年はどうな子供達と出会えるのかと、毎年楽しみにしています。

現在の私の一番の楽しみは、二人の孫の成長と、押し葉です。

1年程前、初めて押し葉の作品を見て、感動、その作者に押し方や作り方を教えていただき、今、挑戦中です。

空の宇宙も神秘に満ちていますが、紅葉した1枚の葉の中にも宇宙を見る事ができます。

この素晴らしい自然からの贈り物を、皆様知っていたら、たいというのが私の願いです。又、お会いできる日を待っています。

OB会報告

新潟高校水泳部

OB現役交流会

松木 保 (84回)

平成22年8月1日(日)、恒例となった水泳部の関川村合宿最終日に今年もOB5名が乗りこんで、現役部員にリレーの挑戦状をたたきつけた。とは言っても男子部員にはとうてい歯が立たないので、相手は女子部員だ。江口さん(61回)、長谷川、松木(ともに84回)の3人(合計年齢181歳)による150mフリーリレーと、現役2年生の早川、山賀の2人によるフリーぬき150mメドレーリレーの勝負である。この手の大ハンデつきリレーに我々OBは一度も現役女子部員に勝つた試しはなかったのだけれど、今年は何となくの差で勝利を収め



た。大人気なくガッツポーズをする僕らに、彼女たちが悔しそうなそぶりを見せてくれたのがうれしかった。

プールでの交流の後は、宿舎に戻り裏山でバーベキュー。練習で腹をすかせた後輩たちに、OBが鉄板焼きや流しソーメンをごちそうした。中でもご自身のお店を経営する高橋さん(77

部OB会) 定期総会が開催された。出席は12名。急逝された前会長の黒さん(50回)に替わり、新会長に平田さん(60回)、新副会長に江口さん(61回)と栢山さん(62回)のお二人が選ばれた。

定期総会の後は会場をプールに移し、再び現役たちとの交流リレー大会。優しい後輩たちはここでも無茶なハンデいに文句も言わずつき合ってくれた。関川村での勝負に負けた女子2人がリベンジを挑んできたが、返り打ちに合っていた。

練習のペースがスイミングクラブに移っているこの時代に、新潟高校水泳部は水泳部としての活動を継続している。このことがどれだけ有意義なことか知

青山体友会の集い

中川 弘 (58回)



百年に一度と言われる暑い夏もようやく終りをつけ、すすきが顔を出す秋になった平成22年10月17日、一年に一度となった青山体友会が開かれた。かつての体操部員はそここの年齢好になったが、体のあちこちに体

練できない。彼らの成長と活躍を心から願うOBとして、来年も後輩たちにリレーの挑戦状を届けに行きたい。

操でできた跡が見られる。板谷啓司氏の乾杯の音頭で開宴し、各自それぞれの心境が語られる。「ほー、へー」と各々の人生のあり方に感心したり納得したり。人々の人生模様は色色だ。母校には、現在体操部がないのが何よりの寂しさだが、新潟の体操界は新潟中学より始まったの自負に各自誇りと伝統を感じる。いつの時代か体操部復活を願わざるを得ない。

宴では青山昭郎氏が名物「赤城山」や川田晴久とダイナブラザーズの歌をカラオケなしで熱唱、その歌唱力にびつくり。恒例の渋谷興司氏の手品教室が始まる。トランプ、数字の計算など不思議の世界に引きこまれる。趣味の一つとして手品の

一つくらい憶えておくといいかに人生を豊かにすることか。誰でも思うがいざとなるとなかなかむつかしい。何事も努力が必要だ。ハンケチを結んで、フツと息をかけると瞬時に結び目がとけるなんて、どうして、どうしてと目を皿のようにしてもわからない。マジックの世界がある。体操は短い筋肉をつけ、バランスをとり、反射神経の訓練には素晴らしいものがある。

各自「体操をやっていたよかった。得をした。良い部に入った」と昔の話に華が咲く。ビールにお酒に招興酒にとアルコールが入るにつれあたたかい友情が流れ、一瞬にして昔に返るから不思議である。同じ釜の飯をくった同志、同じ体操部という共通の形がかわりだすのだ。倒立、転回、車輪、吊環に平行棒とよくもあんなものをやったものだをつくづく思う。体操の美しさである。好きこそ物の上手なれなのである。来年の再会を期して柳江苑をあとする。

出席者 板谷啓司(51回) 土田卯八郎(51回) 渋谷興司(53回) 青山昭郎(55回) 青山茂郎(55回) 安倍 豊(58回) 中川 弘(58回) 江口昌男(59回) 磯部 博(73回) 出口卓哉(94回)

『2010青山ラガー祭 IN 鳥屋野運動公園野球技場』

青山ラガークラブ 幹事 小見 毅 (92回)

恒例の『青山ラガー祭』を昨年も夏真っ盛りの8月7日(土)に行い、OBの皆さんと現役高校生部員たちとで交流をはかりました。上は72回の丹羽正之先輩から下は一昨年卒業の117回の皆さんまで40名ほどのOB・OGのご参加をいただき、保護者の方々や現役高校生部員たちを合わせますと約70名という盛会となりました。会場も鳥屋野運動公園野球技場をお借りし、人工芝で思う存分現役部員を鍛えていただくことと企画しました。

部長の押木洋先生(87回)と昨年から母校の監督に就任された濱藤直人先生(94回)のお力添えで運営もスムーズに行きました。濱藤先生は母校が初めて花園出場した時の主将であり、現役部員たちにその魂を感じてもらうには適任の監督だと思います。昨年は記録的な猛暑という



こともあり、当日も大変な炎天下の中での交流戦となりまし

た。熱中症やけがの無いよう気をつけながらの試合でしたが、始まってしまえばラグビーメンの血がたぎり熱き試合の連続でした。試合終了後は会場のスタンドをお借りして昼食を兼ねた懇親会を開催し、青空のもとで楽しく交流できました。本当に一体感のある素晴らしい『2010 青山ラグビー祭』になったと思います。

関根正圓先生(59回)のご逝去を悼む

去る平成22年の8月の残暑厳しい最中、新潟高校のみならず新潟県のラグ

ビーの発展に偉大な功績を残された、関根正圓先生のご逝去されました。特に新潟高校のラグビー部にとつては昭和35年に関根先生がご着任して部を再建していただいて以来ずっとご指導をいただき、私どもOBの心の支えであり、まさにシンボルでもいらつしやいました。

平成22年度青山柔道部OB会報告

立川 克雄 (72回)

久保存版の資料となる記念誌を発行していただきました。また平成19年8月の60周年記念行事では病氣のお身体にもかかわらずご出席を賜り、会の締めのお言葉をユーモアを交えてお話しいただきました。そのときのOBの皆様のにこやかな顔はまさに尊敬する先生の言葉を一身に聴く教え子の顔でした。本当に残念でなりません、この会に携われたのも先生のお陰であると心から感謝する次第です。

1 現役激励会(食事会)
昨年も県大会入賞、北信越大会と頑張ってくれた。7月10日に引退した3年生の慰労と次の目標への激励、新入部員の歓迎を兼ね関屋新町通の「三宝飯店」で食事会を行った。

2 総会・懇親会
恒例の総会・懇親会は、平成22年11月20日(土)、東堀通八「海鮮亭羅言」(女将が91回の風間まゆみさん)に於いて開催され

英一先生が三条高校へ転出され

たため、先生への御礼を兼ねた会とした。

開会のあいさつ、事業・会計報告、加藤先生への記念品贈呈の後、飯島三良(49回)先輩の乾杯の音頭で懇親会が始まった。49回から120回まで旧知の間柄である先輩・後輩と一緒に飲み、且つ楽しく語った。閉会は、柔道部部歌で締めた。23年度総会予定11月19日(土)。

前OB会長結城俊郎先輩(62回)を悼む

青山柔道部を愛し、柔道部の

発展に力を注がれた結城俊郎先輩(62回)が平成22年6月13日前立腺がんのためご逝去された。戦後禁止された柔道が復活となった半年後、結城先輩は昭和26年に入學、伝統復活に尽力した。卒業後はOBとして、青山柔道に熱い思いを寄せていただいた。私が2年生の昭和37年新潟インターハイ(新潟市体育館)では、試合はもちろん練習にも頻りに激励に来ていただいた。また、私が教員として母校に戻ってきた時、体育館1階の硬いフロアーの柔道場に畳を二重に敷きたいと相談すると、トラツクに私を乗せ改築の家から床のしつかりした畳をせつせと運んでもらった。4年前結城先輩からOB会会長を引き受けたその年、東京青山柔道部OB会も斉藤伸雄会長(44回)から佐藤信秋会長(参議院議員・74回)

に交替したこともあって、東京の会へ2人で参加することになった。1泊2日の忘れられない東京OB会となった。今年5月、電話で現役激励会の出席を約束したのに残念至極である。発病が7年前であったとは、後でお聞きし愕然とした。最後まで元氣な笑いながらの声、全く病氣を感じさせなかった結城先輩、何と言つていいか言葉もない。50年間ご指導誠にありがとうございました。心からご冥福をお祈りいたします。



山での高校生とOBとの交流

小林健太郎 (118回)



平成22年9月4、5日に、9月恒例の山岳部OB登山が行われました。50年以上の歴史ある新潟高校山岳部において、現役とOBの交流を深めるとともに、現役の3年生にとっては1、2年生と一緒に登る最後の山行となります。今回、毎年参加されているOBの方々の都合がつかず、旧顧問の藤田善思先生と私の2名のみで参加しました。毎年同じ日程・会場(9月第一土曜・日曜、南魚沼市・巻機山)で行っているため、事前の連絡無しに來られるOBもおられるのですが、今年は残念ながらありませんでした。

交流会では、藤田先生が新潟高校の顧問で勤務されていたときにこのOB登山を始めたことや、様々な山での体験談を中心に話が進み、現役生の思い出に残る山行や入部のきっかけなどが報告され、和やかな雰囲気で見ました。

翌日、巻機山へ現役生とともに登りました。今年に残暑が厳しいという点もあって、比較的涼しい「沢コース」を登ることになりました。現役時代では、登る機会がなかったコースで、滑りやすい岩場があったり、久しぶりの登山という点もあつ

た。今年に残暑が厳しいという点もあって、比較的涼しい「沢コース」を登ることになりました。現役時代では、登る機会がなかったコースで、滑りやすい岩場があったり、久しぶりの登山という点もあつ



平成22年5月6日、新潟県民会館情報ラウンジにおいて第2回書道部展が開催されました。書道部員は現在30名。青山祭の中心巨大書作(今年度は武者小路実篤「二個の人間」)も恒例となり、県内外の書道展では常に上位入賞者を出しています。

書道部展」報告

青山墨友会 小川和恵 (101回卒)

たりして相当疲れました。天気がよく、山頂からは遠くの山を眺めることもできて、とても充実した山行となりました。OBとして初めて今回の山行に参加し、改めて自分の高校生

代のことを振り返ることとなり、楽しい時間を過ごすことができました。もともと、多くのOBの方に参加していただきたいと思っていました。

この度の展覧会では、青山墨友会からも、東京学芸大、新潟大、筑波大等の書道科に進学して筆を続けている卒業生を中心に、20点ほど出品いたしました。単独校外展ながら、60点を超える生徒、卒業生の大作、力作が会場を埋め尽くし、大変見ごたえのある書展となりました。

県内のおもだった書道の先生方が続々と来場され、出品者に励ましの言葉を頂戴し、市内の高校の書道部や生徒の家族などを含めて入場者は500余名。盛会のうち無事終了できましたこと、御支援御協力下さった皆様には心より感謝申し上げます。

春休みの帰省を利用して何度も母校へ書作に訪れた東京の増子健君(115回)、搬入日に花を活け

第30回青山ゴルフ会

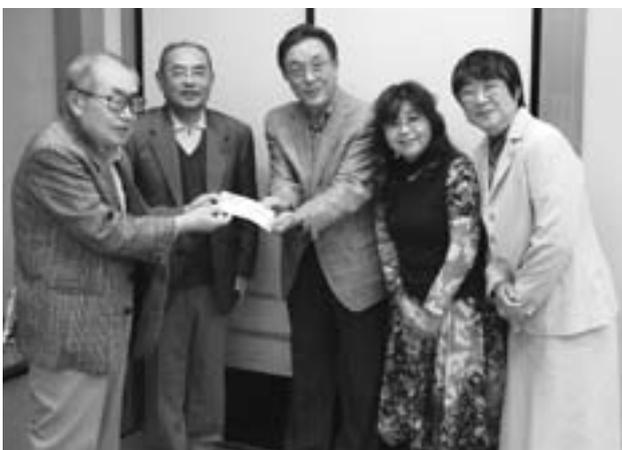
坂爪 征基 (69回)

たのは京都から駆け付けた古俣慎也君(114回)、会場で配布の墨友会誌に尽力した編集長諸和樹君(112回)、会期中も歴代墨友会員が絶えることなく顔を出し、現役高校生と貴重な交流を持ちました。

またこの秋、高文連の全国高文祭で最高賞を受賞しました3年久須美裕子さんの作品に対し、青山同窓会より額一面寄贈いただきました。この場をお借りして、重ねて厚く御礼申し上げます。

ときは平成22年10月24日(日)。ところは紫雲ゴルフ倶楽部(2008年10月・日本女子オープンゴルフ選手権競技会の会場となった加治川コース)ではない飯豊コース。

薄雲、微風で最高予想気温が21度と、言訳材料が見当たらない絶好のゴルフ日和のなか、上は49期の本田正胤先輩から最少99期まで34名の精鋭たちが、それぞれの思いを胸にスタート台につきました。



69期が団体、個人とも征服 狙うは団体戦(同期上位3名のネットスアの合計で競う各期対抗戦)の優勝。

我が69期生は、この大会には、石川さゆりが唄う「天城越え」の一句・常連の大谷勝美君、クラブハウスに自作の絵画を提供している紫雲

G・Cメンバーの大森ゆかりさん、東京から馳参じたドラコンの鬼姫（今回もふたつのドラコンホールを独占）こと岡田尚子さんと晴耕（GOLF）と雨読（G・O・甚）を楽しみ、孫たちからG・Gと呼ばれている小学生の4名。

シヨットは、まっすぐ飛びますように。パットは、入りますように、と念じながらも、ミスシヨットとナイスシヨットを織り混ぜてのラウンドとなりました。

結果、69期の上位3名（4番目の人の名譽のため、武士の情けで名は伏せます）とも、個人戦でのベストテン入りを果たし、狙いどおり団体戦で、2位に5馬身もの大差をつけて優勝し、高額賞金（二次会の費用に化けました）を獲得。

次いでに、個人戦も唯ひとりアンダーパーで優勝商品のマツタケ（大豊作で例年より廉価とのこと）の詰合せをゲット。第30回という節目の大会で、



賞金、マツタケをゲットした喜びを胸に、次回も今回以上を目指し、これからはゴルフ道に励むつもりです。

卒業55周年63会余話

柏 正平 (63回)

卒業50周年、古希会に続き、今回も楽しみに出席した。多くの旧友との再会はもとより、小生の郷土民謡好きを知る幹事がいつも指名し、新潟甚句・相川音頭など唄ったが、今回は古町芸妓衆の民謡踊りがあるという。お座敷2次会も申込み。早々着、開会前に久しぶり母校と会場近辺ぶらり散策の余話。

①会報平成22年7月号『青山の歴史を語る・校舎焼失』、大先

母校は、最近の同窓会報記事のお陰で、我ながらチトよかつたなあと思うことあり校門に立った。

②その前の会報に『母校図書館に同窓生著書の寄贈依頼。現役に難解専門書歓迎』の記事あり。小生には無縁なるも、義兄（川村光男・53回・東工大・同校教授・名誉教授・電子工学）に勧めたところ著書2冊寄贈することになり、この6月本人老弱なこともあり小生が送付の取次ぎ

校長先生から『毎年、同大学を目指す生徒多く、いい目標』など過分の書状を頂き、兄は恐悦を。近辺ぶらりは、まず和田和男君のお店へ。『旭町西大畑街歩き』がイチオシと。情趣あり、和田君に感謝。

①街歩きMAPに沿って、砂丘館（旧日銀支店長役宅）、安吾風の館（旧市長公舎）、旧斎藤家別邸
いずれも風情ある建物・庭見応えあり。

②新潟大神宮（宮司梅坂昌言君・今回欠）
宮司と『百迄』祈願。思えば昭和53年、恩師9人ご出席し市内63会（折よく小生転勤で市内勤務）で宮司の厄年払いを受け

同窓の本

「松下幸之助・成功への軌跡」

佐藤 悌二郎 (83回)

神前新年会。その後ご利益多？このことは幹事長赤羽良樹君も軽妙な開会挨拶で触れていた。

③行形亭（会長行形和也君・66回）
平成20年暮、当亭のお座敷で芸妓衆が、新潟おけき・相川音頭を踊る歌舞伎（遠山桜天保日記・国立劇場）があった。しか

も数ある歌舞伎演目中、市内が舞台登場するのはこれ一本という。郷土民謡ファン必見。当亭ではご一家総出で観劇された由なるも、後日TV収録DVDを送った。久方ぶり『文化財』の門を潜る。かつての若女将が、民謡歌舞伎のことなど話が弾む。

る若者たちが不況のこの日本にわずかながらいるのは心強い。だが大半の学生や若者たちは、海外留学を拒み、内向きになり、ちまちまとした安定生活を好む傾向にあるときく。

青山健児諸君の中には「未来のリーダー」として羽ばたける素質と才能に恵まれている者が多いと確信する。佐藤悌二郎兄の数々の著書は必ずや諸君の多くを啓蒙してくれるであろう。ぜひ手に取って一読されるよう願うものです。

旧職員 上杉 雅之 (60回)

45期の皆様方からの

寄付

この度、45期卒の皆様方より11万3千円余を頂きました。昭和13年3月に240名の卒業生を輩出され同期会を続けて来られましたが、この度、解散される事となり会の残余金を青山同窓会に寄付された次第です。お志に感謝し、同窓会基本金に繰り入れて、末長く使わせて頂きます。大変ありがとうございました。

松下幸之助の軌跡

松下幸之助研究のスペシャリスト佐藤悌二郎君は、数多くの研究著書を世に出しているが、標記の作品は佐藤君が最も心血を注いで書き上げた名著である。今年、他の数冊の著作と共に母校図書館に寄贈された。PHP総合研究所経営理念研究本部長の肩書を持つ佐藤君は、昭和55年（1980年）同研究所に入社以来30年間にわたり、パナソニック（旧松下電器

グループ創業者でありPHP研究所創設者松下幸之助の経営観およびPHP (Peace and Happiness through Prosperity) 理念の研究に従事してきた。

標記の著書は一経営者の単なる立志伝ではない。松下の経営理念をわかり易く説き、経営哲学を行動の軌跡で示すことで、松下の人間への熱い思いを読者の心に伝えてくれる。佐藤君が昨年上梓した「図解 松下幸之助の行動学」（東洋経済新報社）は、数字や各種イラストそれに写真を数多く載せ、誠に親切な手引書となっている。

ペンチャービジネスに挑戦、苦しみに耐えながら成功を夢見



部活動大会結果報告

文化部

◎放送

第 57 回 NHK 杯高校放送コンテスト新潟県大会

朗読部門 第 1 位 小澤海咲

アナウンス部門 第 2 位 宮本真理子 第 6 位 宮本 大

創作テレビドラマ部門 第 1 位 「サイクル」

テレビドキュメント部門 第 1 位 「教えて！！放送部！！～5 分前完了編～」

ラジオドキュメント部門 第 1 位 「コミュニケーション」(以上全国放送コンテスト出場)

アナウンス部門 奨励賞 松尾正樹

朗読部門 奨励賞 阿部佳南子

全国高等学校総合文化祭宮崎大会

アナウンス部門 宮本 大

朗読部門 小澤海咲、石附 愛 出場

第 30 回 QK 杯校内放送コンクール 兼

第 23 回新潟県高等学校放送コンクール

アナウンス部門 第 1 位 宮本真理子

朗読部門 第 2 位 石附 愛

ラジオ番組部門 第 1 位 「ローカルール」

(以上、北信越大会と次年度全国高文祭に出場)

アナウンス部門 奨励賞 阿部花奈子 新井美穂

相澤有香 川崎夏帆

朗読部門 奨励賞 畠野真帆 阿部佳南子 (以上、北信越大会に出場)

◎写真

新潟県高等学校総合文化祭第 24 回写真専門部展

カラー部門 入選 高橋彩佳 樋口史歩

◎吹奏楽

第 51 回新潟県吹奏楽コンクール

高等学校 B の部 銀賞

第 34 回新潟県アンサンブルコンテスト

木管八重奏 金賞

打楽器三重奏 金賞

◎演劇

下越地区 (B) 演劇発表会 優良賞

◎囲碁

春季県大会 男子団体 決勝 1 位 佐藤勇人、坪川滉弥、布施拓也 全国大会出場

男子個人 A ブロック 2 位 布施拓也 全国大会出場

B ブロック 2 位 堀 亜洲、3 位 斉藤未来

C ブロック 3 位 山本 惇

秋季県大会 男子個人 A ブロック 優勝 佐藤勇人

B ブロック 2 位 斉藤未来

◎美術

新潟県高等学校総合文化祭 美術・工芸展

第 55 回全日本学生美術展 (東京都美術館)

絵画部門出品 7 名

彫刻部門出品 3 名

◎書道

全国高等学校総合文化祭 書道展 (宮崎県)

新潟県代表 文化奨励賞 (全国最優秀賞 10 作品のうち 1 つ) 久須美裕子

2 月 1 日～6 日 国立オリンピック記念青少年総合センターカ
ルチャー棟 1 F ギャラリーに展示 (右写真)

全日本高校・大学生書道展 優秀賞 久須美裕子

国際高校生選抜書展 秀作賞 田代智大

新潟県競書大会 新潟大学長賞 (第二席) 塙 孝哉

特 選 早福はるか 菅井郁美 中島主策 斉藤多佳子

川本良樹 佐野加奈

準特選 上杉 憲 関 礼菜 佐藤もも 高橋明日香

種子幸奈 佐藤友紀 島村 滯 津野佑実華

新大全国競書大会 新潟大学長賞 (第一席) 斉藤多佳子

新潟市芸術文化振興財団賞 上杉 憲

毎日新聞新潟支局賞 津野佑実華

特 選 関 礼菜 佐野加奈 小根山ゆい

準特選 阿部真央子 種子幸奈 山村実穂 佐藤もも

和田萌香 早福はるか 塙 孝哉

◎将棋

新潟県高等学校総合文化祭春季県大会

男子団体 1 位 新潟高校 A (井上寛裕、金杉正也、高橋海渡) (全国大会出場)

男子団体 3 位 新潟高校 B (池浩一郎、鶴橋知典、吉田隆史)

男子個人 3 位 佐藤俊輔

第 34 回全国高等学校総合文化祭将棋部門

男子団体 5 位 (ベスト 8) 新潟高校 (井上寛裕、金杉正也、高橋海渡)

将棋新人大会 男子個人 1 位 高橋海渡 (全国大会出場)

男子個人 2 位 池浩一郎 (全国大会出場)

◎合唱

NHK 全国学校音楽コンクール 新潟県大会 奨励賞

運動部

◎フェンシング インターハイ

男子個人 サブプル 5 位入賞 坪野諒介



平成 21 年度青山同窓会収支決算書
(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日)

平成 22 年度青山同窓会収支予算書
(自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日)

(単位:円)

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include I 収入の部 (前年度繰越金, 入会金収入, 会費収入, etc.) and II 支出の部 (総会費, 新年会費, 人件費, etc.).

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include I 収入の部 (繰越金, 総会特別会計収入, 入会金, etc.) and II 支出の部 (総会費, 新年会費, 人件費, etc.).

平成 22 年 4 月 9 日 上記の通り相違ないことを確認します。

監事 江口 良助 ㊟
監事 渡辺 国夫 ㊟

青山同窓会費納入についてのお願い

会費を納入していただきますと、「青山同窓会報」を毎月お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまう可能性があります。是非、お忘れなくお振り込みください。また、お振込みの申し込みは、お振込みの月（4月1日）翌年（3月31日）となっております。

年会費 一口 1,000円
できるだけ二口以上でお願いいたします。
振込先：郵便振替口座
全日制 00650074455 青山同窓会
通信制 005301174207 青山同窓会

同期会を開催される期の方へお願い

同期会の開催に合わせて、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会報・会費納入のお願い・振込用紙としてA4サイズが入る角2の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしくお願ひします。

会報へ寄稿される方へ、原稿字数のお願い

原稿の字数は800字から1,000字の間で書いて下さるようお願いいたします。1,000字以上ですと紙面の関係で載せられなくなる場合がありますのでよろしくお願ひいたします。原稿について字、句を修正させていただきます。

表紙題字：小川 和恵 (101回) イラスト：池主 憲夫 (68回)



